

○ 放送日 令和2年1月14日(火)、1月21日(火)

○ テーマ  
「親子で楽しむスノーシューハイキング」について

○ 出演者  
諏訪地域振興局環境課 自然公園管理員 有賀 沙織

○ 聞き手とのやりとり(概要)

Q1 先ず、霧ヶ峰の冬の様子(自然状況)について教えてください。

A1 諏訪の里との標高差が900m以上ある霧ヶ峰は、冬の最低気温は-20℃ほどになることがあります。また、積雪は年によって差はありますが1mほどになります。湿気の少ないサラサラ雪の霧ヶ峰では、風が強い所では吹きだまりが出来て積雪が2mを超えるような場所もあります。

今年はちょっと積雪が遅れているようで、日現在の積雪はcmです。

草原が雪で覆われると、空気がピンと張り詰めます。周りの音が雪に吸収されてとても静かですが、冬鳥の鳴き声や風の音は乾いた空気の中で響いて聞こえてきます。

Q2 今回のイベントではスノーシューを使いますが、そもそもスノーシューとはどのような物ですか。スキーやスノーボードとは何が違うのですか？

A2 スノーシューは、「西洋かんじき」と言われる様に、日本でも古くから雪の上を歩く道具として使われてきた「かんじき」の西洋版のようなもので、「かんじき」よりも沈みにくく滑らないので近年、冬のスポーツに使われてきています。大きな「わらじ」の裏側に滑り止めが付いた様な感じと言った方が分かりやすいでしょうかね。私たちもセンターに「かんじき」があるので使ったことはありますが、スノーシューを経験してしまうと出番が無くなってしまいました。

またスノーシューは、防寒靴などで歩く感覚に近く特別な技術を必要としないので、小さいお子さんからご年配の方まで楽しむことができます。

霧ヶ峰はなだらかな傾斜が多く、巡回中にスノーシューで散策されている方に出会うと「霧ヶ峰ほど歩き易く楽しめる場所は全国でも少ない」と言われることがあるほど、スノーシューを楽しむには最適の場所です。

Q3 自然保護センターのスノーシューハイキングはどのような内容のイベン

トなのですか。

A 3 親子対象のイベントで、毎年1月下旬から2月上旬の、霧ヶ峰で比較的雪の多い時期に行なっています。今年は2月2日（日）と2月9日（日）の10時～12時までのうち約1時間半を、センター職員の案内とパークボランティアのサポートで約1.5kmを歩きます。

歩きながら動物の痕跡や冬の植物の様子を自然観察します。過去には、ニホンジカが目の前を横切ったり、ノウサギが突然逃げ出したりして参加者を驚かせたこともあります。

受付は9時30分から霧ヶ峰スキー場トイレの横で行い、参加費は保険代としてお一人100円となります。またスノーシューをお持ちでない方には無料の貸出も行っています。

Q 4 参加したいなと興味を持たれた方に、お伝えすることはありますか。

A 4 当センターのイベントは親子（基本小学生の子ども）対象ですので、大人だけの参加や団体での参加はできません。

服装などは、当日のお天気によって大きく変わります。またじっとしていると寒くてもスノーシューで歩き始めると、汗ばむくらいになることもありますので、重ね着と風を通しにくい上着で温度調節ができるようお願いします。

当日の天候や道路状況によっては中止になる場合があります。

Q 5 申し込み方法を教えてください。

A 5 1月31日（金）までに電話又はメールで諏訪地域振興局環境課（電話:0266-57-2952 mail:suwachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp）へ、ご住所・お名前・年齢・当日ご連絡が可能な電話番号をお伝えくださるようお願いいたします。詳しい内容については霧ヶ峰自然保護センターのホームページをごらんください。

Q 6 今回のイベント以外で、霧ヶ峰でスノーシュー散策するときに、注意すべきことは何かありますか。

A 6 植生保護のうえで、積雪が概ね50cm以上あれば草原内を散策することが出来ますが、植物を折ったり痛めつけたりしない様にご注意ください。

霧ヶ峰には、国の天然記念物に指定されている高層湿原が3箇所あります。いずれの湿原も積雪のあるなしに関係なく立入ることはできませんのでご注意ください。